

特集論文募集 (2009年1月発行号掲載)

学会誌編集委員会

テーマ：次世代情報教育の構築へ向けて

○主旨：

初等・中等教育から高等教育、企業内教育、生涯教育に至るまで、これまでに例を見ない規模で情報教育が実践されるようになりました。教育内容が充実するとともに、さまざまなメディアやシステムを活用した情報教育が研究され、実践されています。小・中・高等学校では情報教育が教育課程に組み入れ、大学の情報教育も、それを受けて教育内容や方法の見直しが進められています。

また、情報通信技術（ICT）を教育内容として取り入れるだけでなく、授業支援として利用したり、新たなシステムを開発して情報教育で活用するような試みもあります。

このような現状を踏まえ、次世代の情報教育の目標、内容、方法、評価等を方向付けるためにも、これまでに実践されてきた情報教育の成果を論文としてまとめて共有することは有意義であると考え、ここに情報教育に関する特集号を企画いたしました。

○対象分野：

広く情報教育に関する論文を募集いたします。

キーワードとしては、以下のものが考えられますが、これらに限りません。

ICTを活用した情報教育、情報処理教育、プログラミング教育、情報教育の教材および環境開発、情報リテラシー教育、情報活用能力の育成、情報の科学的な理解、初等教育・中等教育・高等教育・企業内教育・生涯教育における情報教育の実践、情報倫理教育、情報教育の内容・方法・評価、情報教育指導者の育成・研修、など

○論文種別：

すべての種別の論文を受け付けます。ショートノート、実践速報も歓迎いたします。なお、査読の結果より、異なる種別での採録になることがあります。

また、編集委員会の判断で、特集ではなく一般投稿論文としての採録とさせていただくことがあります。

○投稿要領：

一般の論文投稿規程に準じます。投稿に際しては、原稿の1ページ目および送付する封筒に、「次世代情報教育の構築へ向けて特集」朱書きしてください。

○スケジュール：

投稿締め切り：2008年5月8日（木）

掲載予定：2009年1月1日発行の学会誌

○問い合わせ・原稿送付先：

教育システム情報学会事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学内

e-Mail：secretariat@jsise.org

教育システム情報学会英文誌 論文募集

(Vol. 7, No. 1, 2008 年 12 月発行予定)

英文誌編集委員会

教育システム情報学会では、2002 年度から年 1 回定期的に英文誌を発行しています。これまでに発行してきました英文誌は、質・量ともに「教育とコミュニケーション技術」に関する世界レベルの内容となりました。このたび、Vol. 7 に掲載する論文を募集いたします。是非、多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思ひます。

下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

原著論文(Original Paper)、実践論文(Practical Paper)、ショートノート(Short Note)、実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2008年5月17日

(投稿は随時受け付けていますが、この期日までにご投稿いただいたものに関しては、Vol. 7, No. 1への掲載対象となります)

○投稿要件：

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・寄稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には投稿料に会員の価格が適用されます。寄稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、投稿料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください
(http://www.jsise.org/e_journal/ejournal.html)

○投稿方法：

オリジナル原稿を PDF 形式にしたものを電子メールに添付して JSiSE 英文誌編集事務局 (jsise-e@jsise.org) へ送付してください。その他のファイル形式 や提出方法を希望される場合は、お問い合わせください。

○問い合わせ先 (メールにてお問い合わせください)：

jsise-e@jsise.org
JSiSE 英文誌編集事務局

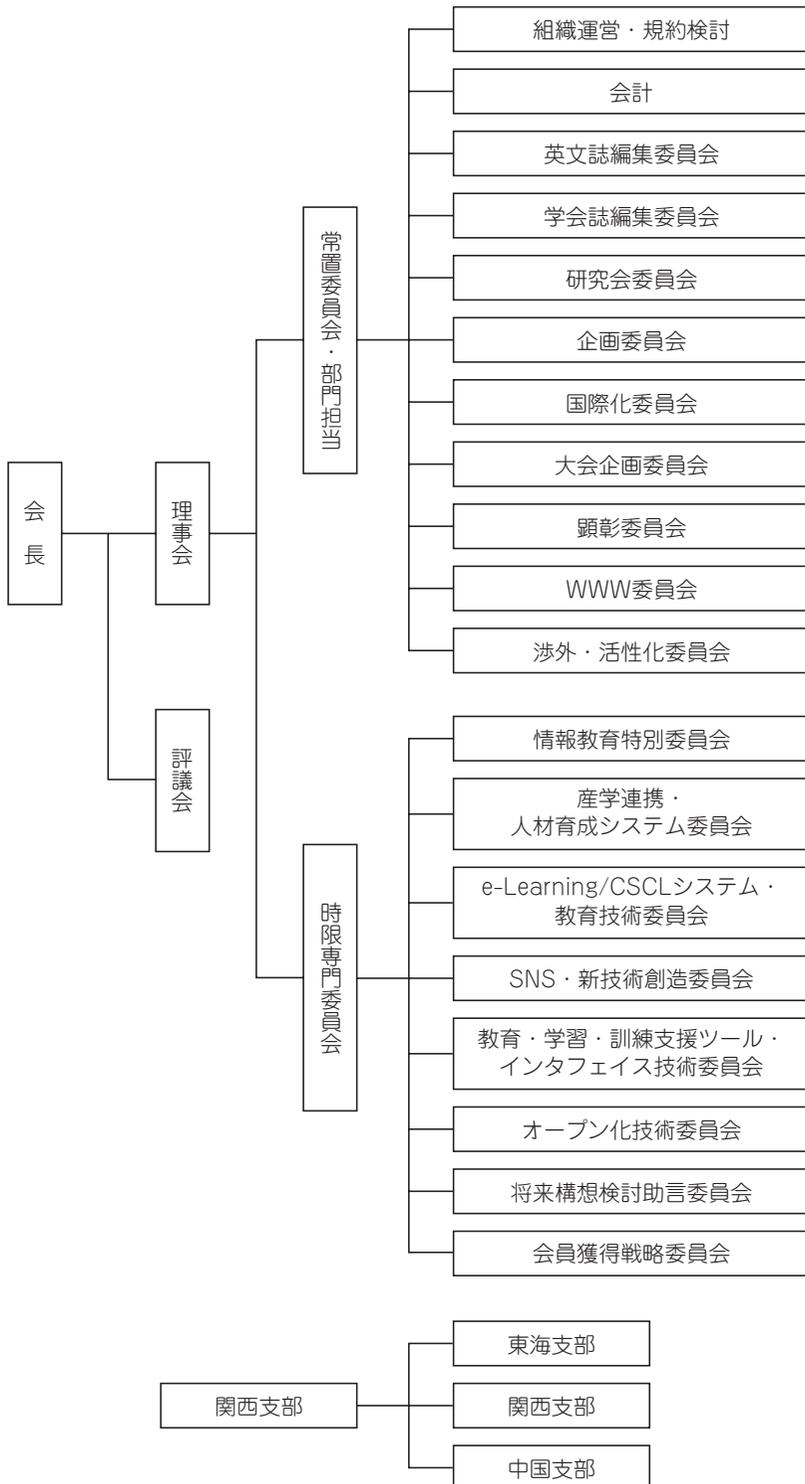
新役員・評議員一覧表

岡本会長、伊東副会長、福原副会長を中心に役員組織が理事 24 名、監事 2 名、評議員 23 名の新しい体制となりました。新役員・評議員の一覧は下記の通りです。

今後とも、会員の皆様方のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

会 長	岡本 敏雄	(電気通信大学)
副 会 長	伊東 幸宏	(静岡大学)
	福原 美三	(慶應義塾大学)
理 事	赤堀 侃司	(東京工業大学)
	家本 修	(大阪経済大学)
	池田 満	(北陸先端科学技術大学院大学)
	磯本 征雄	(岐阜聖徳学園大学)
	大下真二郎	(信州大学)
	小田 良次	(実教出版株式会社)
	小松 秀罔	(NTT ラーニングシステムズ株式会社)
	坂元 昂	(社団法人日本教育工学振興会)
	清水 康敬	(独立行政法人メディア教育開発センター)
	竹内 章	(九州工業大学)
	対馬 勝英	(大阪電気通信大学)
	永岡 慶三	(早稲田大学)
	仲林 清	(独立行政法人メディア教育開発センター)
	平嶋 宗	(広島大学)
	前迫 孝憲	(大阪大学)
	溝口理一郎	(大阪大学)
	矢野 米雄	(徳島大学)
	山本 恒	(園田学園女子大学)
	吉田 覚	(日本データパシフィック株式会社)
	米澤 宣義	(工学院大学)
	渡辺 成良	(電気通信大学)
監 事	伊藤 紘二	(東京理科大学)
	小荒井 順	(財団法人能力開発工学センター)
事務局長	家本 修	(大阪経済大学)
評 議 員	植野 真臣	(電気通信大学)
	役 誠雄	(富士通株式会社)
	柏原 昭博	(電気通信大学)
	北村 士朗	(熊本大学)
	小西 達裕	(静岡大学)
	小松川 浩	(千歳科学技術大学)
	渋井二三男	(城西大学)
	鈴木 克明	(熊本大学)
	高橋 参吉	(千里金蘭大学)
	竹本 宜弘	(高崎商科大学)
	田村 恭久	(上智大学)
	中村 直人	(千葉工業大学)
	西野 和典	(九州工業大学)
	西堀 ゆり	(北海道大学)
	林 敏浩	(香川大学)
	平田 謙次	(東洋大学)
	不破 泰	(信州大学)
	本田 敏明	(茨城大学)
	松居 辰則	(早稲田大学)
	松永 公廣	(摂南大学)
	松原 行宏	(広島市立大学)
	三輪 和久	(名古屋大学)
	渡辺 博芳	(帝京大学)

新組織構成図



国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報： 5 件

(論文締切の順に並べてあります)

▼ **IADIS International Conference e-Society 2008**

開催地： Algarve, Portugal

開催日程： 9-12 April 2008

URL: <http://www.esociety-conf.org/>

論文締切： 21 December 2007

▼ **ITiCSE 2008**

The 13th Annual Conference on Innovation and Technology in Computer Science Education

開催地： Universidad Politécnica de Madrid, Madrid, Spain

開催日程： June 30-July 2, 2008

後援： ACM Special Interest Group in Computer Science Education (SIGCSE).

URL： <http://www.iticse08.fi.upm.es/>

論文締切

Papers, Panels, Working Groups： January 18, 2008

Demonstrations, Tips & Techniques, Posters, Student Posters： March 2, 2008

備考：2008 年は、IEEE の ICALT2008 と、ACM 後援の ITiCSE2008 が、ともにスペインでの開催で、開催時期も連続（一部重なって）しています（さらに、ED-MEDIA2008 が同時期にウィーンで開催されます）。参加される方は、両方に参加するとよいと思います。論文締切も、ともに 1 月中旬です。

▼ **ICET 2008 : "International Conference on Educational Technology"**

開催地： Rome, Italy

開催日程： April 25-27, 2008

URL： <http://www.wahss.org/icet08/>

論文締切：

Paper submission： January 30, 2008

Notification of acceptance： February 20, 2008

Final paper submission and authors' registration： March 15, 2008

▼ **SIGGRAPH2008 :**

the 35th International Conference and Exhibition on Computer Graphics and Interactive Techniques

開催日程： 2008 年 8 月 11~15 日

開催地： Los Angeles Convention Center, California, USA

URL： <http://www.siggraph.org/s2008/>

論文締切： 2008 年 1 月 30 日

備考：CG 分野では最高峰の国際会議です。近年は、インタラクションにも重点を置いているので、VR を応用した学習支援の研究者には、参考になる研究発表があります。

▼**KES2008 :**

12th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems

開催日程 : 2008年9月3~5日

開催地 : Zagreb, Croatia

URL : <http://kes2008.kesinternational.org/>

論文締切

◆General Track Sessions : 2008年2月1日

◆Invited Sessions and Workshops

Proposal for Invited Sessions/Workshops: 2008年1月1日

Final paper to be received by: 2008年5月1日

備考 : この国際会議は、日本人の参加が多く、もともと知的システムの国際会議ですが、ユビキタス、モバイル、学習支援など、様々な分野の議論がなされています。2008年はクロアチアの首都ザグレブでの開催で、クロアチアは、湖が点在するプリットピツァ国立公園や、アドリア海の真珠ともいわれる美しい城壁都市ドゥブロブニクなどの世界遺産がある国です。

再掲情報 : 2件

▼**ITS' 2008: 9th International Conference on Intelligent Tutoring Systems**

開催日程 : 2008年7月23日~7月27日

共催 : 教育システム情報学会

論文応募締切 : 2008年1月18日

開催地 : Montreal, Canada

URL : <http://gdac.dinfo.uqam.ca/its2008/>

▼**ICALT2008: The 8th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies**

開催日程 : 2008年7月1日~7月5日

主催 : IEEE Technical Committee on Learning Technology. IEEE Computer Society

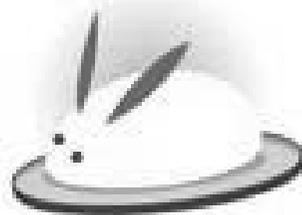
論文応募締切 : 2008年1月15日

開催地 : Santander, Cantabria, Spain

URL : <http://www.ask4research.info/icalt/2008/>

備考 : ITiCSE 2008 と開催時期が連続しており、ともにスペインです。

国際会議案内文責 曾我 真人 (和歌山大学) E-mail : soga@sys.wakayama-u.ac.jp



教育システム情報学会 (JSiSE) 2007 年度第 4 回研究会報告
「生涯学習につながる初等中等教育機関への I C T 学習支援
-理科離れ、物作り離れを防ぐ I C T-／その他」

担当：研究会委員 米澤宣義／林敏浩

2007 年 11 月 24 日 (土) に香川大学幸町キャンパスにて、午前 9 時から午後 6 時過ぎまで第 4 回研究会を開催しました。発表件数は 21 件、参加者は約 50 名でした。

研究会は、「初等中等教育機関への I C T 学習支援」に焦点を当て、小中学校や高等学校において I C T の利活用を実践されている方々に支援システムや学習状況等に関する報告をしていただき、I C T 学習支援の新しい方向を見出したいと考えていました。このテーマに直接関わる発表は 5 件でありましたが、興味深い研究と実践が報告され、活発な質疑応答がありました。

発表件数が多かったのですが、大人数で活発に議論したいという意図からパラレルセッションにせず、さらに質問時間をできるだけ取りましたので、長時間になり体力勝負の研究会になりました。しかし、最終までかなりの参加者が活発に討論し、久々に大変有意義で充実した研究会になったことを報告します。

■開催日：2007 年 11 月 24 日 (土)

■会 場：香川大学幸町キャンパス

1. 活性伝播モデルに基づく履修スケジュールリング支援システムとその評価
高橋和麻 (香川大学大学院), 堀幸雄 (香川大学総合情報センター),
今井慈郎 (香川大学大学院・香川大学総合情報センター)
2. 学習教育目標を考慮した達成度評価支援のためのポートフォリオシステムの提案
越智洋司 (近畿大学)
3. 遠隔学習者の履修情報を基にしたサポート支援システムについて
山下純矢, 右代美香, 新村正明, 國宗永佳, 不破 泰 (信州大学)
4. 音声認識技術を利用した多地点カメラ制御システム
溝渕昭二, 越智洋司, 井口信和, 佐野到, 向井苑生, 木村隆良 (近畿大学)
5. 現代版モジュール訓練の実現に向けた Learning Management System の開発
-Ajax を利用したリアルタイムな学習状況提示機能-
池田秀聡 (四国職業能力開発大学校), 藤田紀勝 (職業能力開発総合大学校)
6. 多様な問題を利用可能なオンラインテストシステムの Moodle への移植について
松本拓馬 (信州大学大学院), 國宗永佳, 新村正明 (信州大学),
和崎克己, 不破泰 (信州大学大学院)
7. 様々なオンラインテストシステムの学習履歴情報を Moodle で管理するための
汎用インターフェイスの提案
五月女雄一 (信州大学大学院), 新村正明, 國宗永佳 (信州大学),
不破泰 (信州大学大学院)
8. 活性度評価パラメータに基づく学習状況可視化システム
-活性度評価パラメータの検証-
立石真也 (四国職業能力開発大学校), 藤田紀勝 (職業能力開発総合大学校)

9. **Web 教材への書き込みの共有によるコミュニケーション機能の検討**
横山健造（信州大学大学院），滝澤 武，平松 卓也，國宗永佳，新村正明（信州大学）
和崎克己，不破泰（信州大学大学院）
10. **Web からのレポート作成支援システムと e-Learning の融合**
中谷俊介，光原弘幸（徳島大学大学院），金西計英（徳島大学高度情報化基盤センター），
矢野米雄（徳島大学大学院）
11. **ロボット教材を用いたものづくり教育**
石原秀則（香川大学）
12. **草花の観察についての電子掲示板交流学习の実践**
藤本義博（岡山県倉敷市立西中学校），宮地功（岡山理科大学）
13. **体験・観察学習のためのユビキタス植生ハウスの開発
～高校生と共に取り組むものづくり研究～**
山田成仙（佐賀大学・佐賀県立塩田工業高等学校），
渡辺健次，大谷誠，岡崎泰久（佐賀大学）
14. **3次元CGアニメーションを用いた初等教育教材の開発**
松下孝太郎，西田隼人，古谷信吾，鈴木英男，布広永示（東京情報大学）
15. **特別支援教育における Web データベースを用いた生涯学習支援**
永森 正仁（長岡技術科学大学・電気通信大学），長澤正樹（新潟大学），
植野真臣（電気通信大学）
16. **遺伝的アルゴリズムを用いたパズル型学習支援システムの開発**
米山勇次（東京情報大学大学院），松下孝太郎，マッキン・ケネス・ジェームス，
大城正典，山崎和子，布広永示（東京情報大学）
17. **ボードゲーム戦略を題材とする問題解決型プログラミング演習支援
-試行錯誤的な戦略作成の支援環境とサンプル提示-**
尾崎浩和，富永浩之（香川大学），林敏浩（香川大学総合情報基盤センター），
垂水浩幸（香川大学）
18. **教育用システム記述言語 C-**
重村哲至（徳山工業高等専門学校・佐賀大学大学院），
古川達也，相知政司（佐賀大学大学院），林敏浩（香川大学図書館・情報機構），
土橋壘（富士通（株））
19. **仮想通貨を用いた知識売買環境における変動相場制の導入**
赤塚将人，光原弘幸（徳島大学大学院），金西計英（徳島大学高度情報化基盤センター）
矢野米雄（徳島大学大学院）
20. **検索エンジンを利用した多言語作文支援ツール**
網嶋祐一，安藤一秋，岡田壮史（香川大学）
21. **音声合成技術を活用した英会話学習支援システム**
日下大輔，堀幸雄，今井慈郎（香川大学）

2008年度第1回研究会 講演募集

担当：仲林 清，石打智美，松居辰則（研究会委員会）

■テーマ：eラーニング環境のデザインとHRD（Human Resource Development）／一般

■開催日：2008年5月30日（金）

■会場：メディア教育開発センター 8F 会議室
千葉市美浜区若葉2-12
<http://www.nime.ac.jp/access/index.html>

■主旨：

本年度第1回研究会は、「eラーニング環境のデザインとHRD（Human Resource Development）／一般」のテーマで実施いたします。本テーマでは、eラーニングを企業や大学における複合的な教育研修メディアと捉える立場から、単なるWebによる教材配信にとどまらず、企業や大学における人材開発やマネジメントとの連携、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザイン、品質評価などの方法論、ツール、システム、実践環境に関する提案・構築など幅広いトピックスを扱ってきました。今回もこのような分野に関するご発表を募集いたします。その他、教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します。初中等教育、高等教育、企業教育などの分野から、多くの方々の発表をお待ちしております。

■発表申込み：※発表申込み締切：2008年3月28日（金）

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電子メールアドレス
5. その他（使用機器など）
6. 申込先：メディア教育開発センター 仲林 清
naka@nime.ac.jp

■発表原稿の提出：※発表原稿提出締切：2008年4月25日（金）

1. 原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会誌巻末に掲載している学会誌原稿執筆要項に準拠してください。
3. 原稿送付先
 - 郵便で送付される場合
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
大阪経済大学内 教育システム情報学会事務局
 - 電子メールで送付される場合
e-mail secretariat@jsise.org
(注) PDF形式にて送信下さい。

■お問い合わせ先：

メディア教育開発センター 仲林 清
Tel：043-298-3288 E-mail：naka@nime.ac.jp

第2回 JSiSE 学生・院生研究発表会のお知らせ

渉外・活性化委員会

渉外・活性化委員会では、2007年3月に東京の電気通信大学で第1回学生・院生研究発表会を開催し、お蔭様で好評を博しました。
2008年3月には、これを更に拡大し、第2回学生・院生研究発表会として東京・名古屋・高松の3地区で開催することに決定しました。

JSiSE 学生・院生研究発表会は、若手の研究者に比較的気軽な発表の機会を用意することにより、将来に繋がる経験と自信を持っていただくとともに、JSiSEの若手会員獲得の一助とするための企画です。

開催場所、開催予定日は、下記の通りです。

東京会場: 電気通信大学 2008年3月3日(月)

名古屋会場: 名古屋大学 2008年3月8日(土)

高松会場: 香川大学 2008年3月5日(水)

お問い合わせ先: 渉外・活性化委員会 吉田 yoshida@datapacific.co.jp

教育システム情報学会 第33回全国大会 開催日程・会場のご案内

第33回全国大会が下記の日程・会場にて開催されることが決まりました。
内容の詳細につきましては、決まり次第、順次ホームページとニュースレターでお知らせ致します。

日程: 2008年9月3日(水)～9月5日(金)

会場: 熊本大学

新入会員の紹介

新入会員（敬称略）

(会員 No.)	(氏 名)	(所 属 機 関)	(会員種別)
JSiSE-A0702660	貴田 研司	東海大学短期大学部	正会員
JSiSE-A0702661	猪子 寛司	東京工業大学大学院	準会員
JSiSE-A0702662	國信 真吾	香川大学大学院	準会員
JSiSE-A0702663	佐々木 史織	慶應義塾大学 SFC	正会員
JSiSE-A0702664	景村 幸弘	甲子園大学	準会員
JSiSE-A0702665	久保田 達也	(株) イッツ	正会員
JSiSE-A0702666	福嶋 茂信	大阪府立工業高等専門学校	正会員
JSiSE-A0702667	鈴木 雄清	志學館大学	正会員

2007年度新入会員（2007年9月28日～2007年11月19日）

事務局より

2008年度 年会費のお振込について

2008年度（2008年4月～2009年3月）の年会費をご請求させていただきます。
請求書が到着しましたら、ご入金頂けますよう宜しくお願い致します。

■■■2008年度 研究会開催予定■■■

日 時	内 容	会 場	担 当
2008年5月30日（金）	第1回研究会 eラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) / 一般	メディア教育 開発センター	仲林, 石打, 松居
2008年7月26日（土）	第2回研究会 e-learningの質保証 / 一般	愛知教育大学	小松川, 不破, 野崎
2008年10月11日（土）	第3回研究会 ゲーム・シミュレーション, エンタテインメントと 教育 / 一般	香川大学	米澤, 林
2008年11月頃	第4回研究会 新しいインタラクションを取り入れた学習支援 およびスキル支援 / 一般	和歌山大学	平嶋, 柏原, 小尻, 曾我
2009年1月頃	第5回研究会 新しいデバイスと教育システム / 一般	未定	佐々木
2009年3月15日（土）	第6回研究会 大学の情報教育 / 一般	長崎大学	松永, 西野